

ところで…、 利用状況の実態把握はできていますか？

このような情報モラルの指導のためには、まず、先生方が**自分の指導する児童生徒の利用の状況**について、家庭など学校以外の場所での利用も含めて**実態を**

把握し、日常の授業や保護者への啓蒙に役だてていくことが大切です。学級や学年ごとの調査と学校全体の集計で、各学年や各学級のインターネットの利用状況をつかむことは、児童生徒の実態に合った指導計画をたてるために必要です。

インターネットの利用実態調査から

(1)平成18年度「情報モラル等指導サポート事業」で実施した調査の結果です。発達段階による利用の仕方の変化がうかがえます。
(協力校：小学校8校、中学校4校、高等学校5校)

●インターネットを主に何に使っているか（データは該当学年調査人数に対する割合（％））

	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3
調査人数（人）	394	398	431	475	497	535	525	1064	826	681
① 情報を調べる	48.7	61.8	64.3	72.4	70.0	78.7	82.7	81.5	82.1	87.1
② ゲームをする	45.9	44.7	50.3	47.6	49.3	38.9	36.8	28.2	22.4	23.6
③ メールをする	3.3	5.5	7.0	12.8	24.1	31.2	32.6	20.4	15.6	20.7
④ 掲示板を使う	4.3	4.8	5.8	10.3	11.1	12.7	16.8	19.9	18.6	18.2
⑤ チャットをする	3.3	4.5	4.9	9.9	9.9	12.5	15.8	8.1	6.8	9.5
⑥ 買い物をする	4.8	6.0	7.4	9.1	5.8	12.3	14.5	15.5	20.1	25.8
⑦ ブログを見る	/	/	/	/	18.3	27.5	25.9	22.2	20.3	21.6
⑧ ブログを書く	/	/	/	/	5.4	8.6	6.3	5.1	7.9	7.6
⑨ 使わない	17.5	15.3	11.1	11.2	/	/	/	/	/	/
⑩ その他	5.6	5.3	2.6	3.8	4.2	4.3	2.7	5.8	4.1	3.5

(2)平成17年6月発行、東京都生活文化局都民生活部の小冊子「インターネットガイドブック」によると、小学生を持つ保護者でインターネットを利用している1100人の回答結果は次のようになっています。

- 親子でのインターネット利用のルールがあるかどうか？
 - ① 親の目の見える所で利用するようにしている 629人
 - ② 利用時間数や時間帯を決めている 240人
 - ③ 自由に使わせている 227人
- 子どもは特殊なサイトを見てしまったことがあるか
 - ① 見たことはない 903人
 - ② 分からない 72人
 - ③ アダルト画像 69人
 - ④ 出会い系サイト 47人
 - ⑤ 他人の悪口や誹謗中傷の情報 24人
 - ⑥ 犯罪をそそのかしたり薬物や麻薬の情報 7人
 - ⑦ 暴力や残虐画像 17人

(3)下記は、平成16年度に全国の小学校5年生、中学校2年生、および児童生徒の保護者を対象にした(社)日本PTA全国協議会の「子どもの心と与える有害情報問題の取り組み『青少年とインターネット等に関する調査』」の概要からの抜粋です。(調査人数：小学5年生…2469人、中学2年生…2567人／小学5年生保護者…2694人、中学2年生保護者2396人)

- 使うとき保護者はどうしているか
 - 小5 何もせず自由にしてくれる 57.1%
 - そばに一緒にいる 22.7%
 - 中2 何もせず自由にしてくれる 83.8%
 - そばに一緒にいる 6.4%
- 電子メールの利用
 - 小5 週1回以上 61.1% ほぼ毎日 23.6%
 - 中2 週1回以上 89.3% ほぼ毎日 58.3%
- 出会い系サイトの広告メールを受信し返信した
 - 中2 2.7% 出会い系サイトの利用経験 1.8%
- インターネット利用についての家庭内のルール
 - 親が決めたルールはない
 - 小5 60.8% 中2 75.0%
- インターネットを使うとき特に注意していること
 - 特にない 小5 27.5% 中2 27.9%
- インターネットの利用頻度 週1回以上
 - 小5 51.1% 中2 65.2%
- インターネットの利用目的1位
 - 小5 勉強のための情報入手
 - 中2 趣味や娯楽のための情報入手
 (「趣味や娯楽」57%、
 「気分転換・ひまつぶし」52%、
 「勉強のための情報入手」37%の順。)